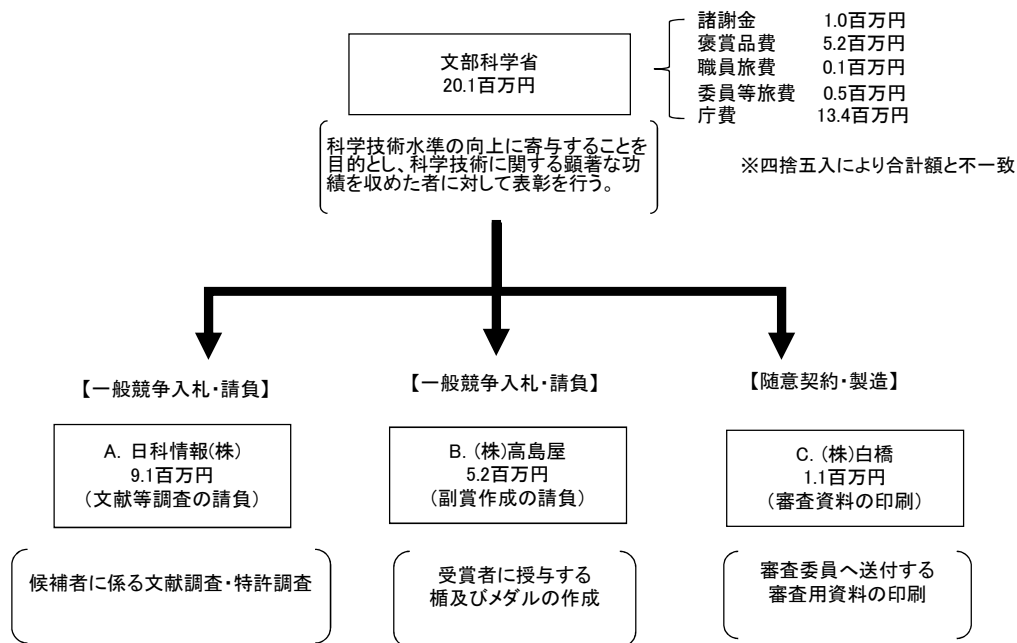


平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	科学技術分野の文部科学大臣表彰	<b>担当部局</b>	研究振興局	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和34年度・なし	<b>担当課室</b>	振興企画課奨励室	<b>奨励室長</b>	棒田 明		
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>政策・施策名</b>	科学技術・学術政策の総合的な推進 VII-1 科学技術関係人材の育成及び科学技術に関する国民意識の醸成				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	—	<b>関係する計画、通知等</b>	—				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	科学技術分野の文部科学大臣表彰についての審査・選考を行い、表彰を行う。 ・科学技術特別賞 ・科学技術賞(開発部門、研究部門、科学技術振興部門、技術部門、理解増進部門) ・若手科学者賞 ・創意工夫功労者賞 ・創意工夫育成成功労学校賞						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	27.9	25.1	25.1	25.1	25.1
		補正予算	—	—	—	—	
		繰越し等	—	—	—	—	
		計	27.9	25.1	25.1	25.1	25.1
	執行額	22.4	24.1	20.1			
執行率(%)	80.3%	96.0%	80.1%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	<b>成果指標</b>		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	顕著な成果を収めた者の功績を讃える表彰事業であり定量的な成果目標の設定は困難であるが、例えば若手科学者賞の授与によって若手研究者の更なる能力の向上に資するなど、科学技術に携わる人材の育成及び科学技術水準の向上を図る。	成果実績	達成度	%			
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	科学技術特別賞	活動実績 (当初見込み)	件	1	0 ( 0 )	0 ( 0 )	— ( 0 )
	科学技術賞	活動実績 (当初見込み)	件	112	101 ( 140 )	107 ( 140 )	— ( 140 )
	若手科学者賞	活動実績 (当初見込み)	人	85	90 ( 100 )	89 ( 100 )	— ( 100 )
	創意工夫功労者賞	活動実績 (当初見込み)	人	982	983 ( 1000 )	994 ( 1000 )	— ( 1000 )
	創意工夫育成成功労学校賞	活動実績 (当初見込み)	校	11	13 ( 40 )	17 ( 40 )	— ( 40 )
<b>単位当たりコスト</b>	16,648(円/件、人)		算出根拠	単位当たりコスト=24年度執行額:20.1百万/受賞件、者数:1,207			
平成25・26年度予算内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.9百万円	0.9百万円				
	褒賞品費	6.3百万円	6.3百万円				
	職員旅費	0.3百万円	0.3百万円				
	委員等旅費	0.6百万円	0.6百万円				
	庁費	17.0百万円	17.0百万円				
	計	25.1百万円	25.1百万円				

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
必要投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、我が国の科学技術水準の向上はもとより、国民への科学技術に対する理解増進を図る科学技術振興のための表彰制度であり、国が実施すべきものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札により支出先を適正に選定するなど、競争性の確保及び単位あたりのコスト削減に努めている。また、随意契約についても、見積り合わせにより、より安価な支出先を選定している。支出は、候補者の文献・特許の調査、表彰対象者を選定する有識者で構成される審査委員会に関する謝金・旅費、表彰時の褒賞品等、真に必要なものに限定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	事業の有効性を高めるため、公募の際の推薦依頼方法の見直しや関係機関への事業の周知協力依頼等により、推薦数の増加に努めている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	類似事業としては、産学官連携活動において成果を収め優れた成功事例を表彰する産学官連携功労者表彰(内閣府)が挙げられる。しかし、文部科学大臣表彰では、「大学等の研究成果を活用したベンチャー創出、地域における産学官連携に係わる成果」については産学官連携功労者表彰が終了するまで表彰対象外としており、適切な役割分担を行っている。		
	事業番号 (平成24年) 0057	類似事業名 産学官連携功労者表彰	所管府省・部局名 内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)			
点検結果	<p>本事業は、国において継続して実施すべきものであり、内閣府が実施する産学官連携功労者表彰との役割分担もやっている。</p> <p>また、昨年度の行政事業レビューにおける指摘事項を踏まえ、審査日程の前倒しにより入札時期の早期化・入札公告期間の確保に努めた結果、1者入札が解消され、契約の競争性の確保を図っている。</p>					
外部有識者の所見						
<p>本事業においては、我が国の科学技術水準の向上はもとより、国民への科学技術に対する理解増進を図る科学技術振興に寄与していると認められる。しかしながら、より効率の高い事業とするため、引き続き契約の競争性の確保に努めるべきである。</p>						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、科学技術分野の文部科学大臣表彰についての審査・選考並びに表彰を行うものであり、予算執行の状況、長期継続事業、類似事業等、契約・執行手続きの観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:この事業は、昭和34年以降長期に継続している事業であり、伝統ある大臣表彰制度であり、我が国の科学技術水準の向上はもとより、国民への科学技術に対する理解増進を図る科学技術振興に寄与していると認められる。類似事業である内閣府の産学官連携功労者表彰などは、表彰対象が重複しないようにするなど適切な役割分担を行っている。また、平成24年度レビューの指摘を踏まえ審査日程の前倒しによる入札時期の早期化・入札公告期間の確保に努めた結果、1者入札が解消され、契約の競争性についても改善されている。しかしながら、より効率の高い事業とするため、引き続き契約の競争性の確保に努めるべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	<p>本事業については、さらに多くの者が入札に参加できるよう引き続き入札公告期間の確保に努め、より一層の契約の競争性の確保を図ることとする。</p>					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0201	平成23年	0220	平成24年	0238

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



※100万円未満の契約については、記載を省略

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.日科情報(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	候補者に係る文献調査及び特許調査	9.1			
計		9.1	計		0
B.(株)高島屋			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	受賞者に授与する楯及びメダルの作成	5.2			
計		5.2	計		0
C.(株)白橋			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	審査委員へ送付する審査用資料の印刷	1.1			
計		1.1	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日科情報(株)	候補者に係る文献調査及び特許調査	9.1	2	91.6

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)高島屋	受賞者に授与する盾及びメダルの作成	5.2	2	98.1

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)白橋	審査委員へ送付する審査用資料の印刷	1.1	随意契約	—